



施設の老朽化・耐震化で約60億円必要 将来の収支見通しは、財源が不足します

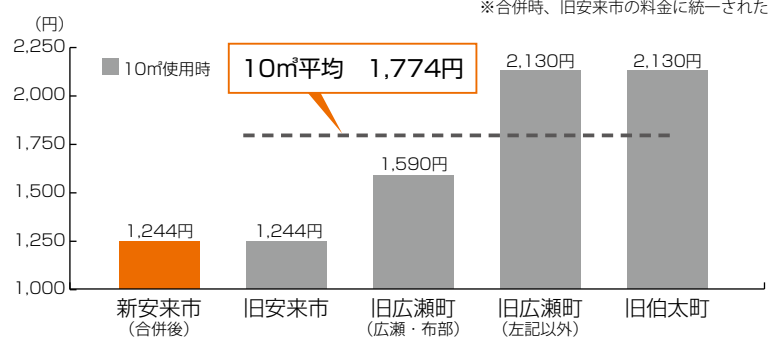
水道料金改定②

問い合わせ
水道管理課
電話 23-2020

表1：合併時の料金比較 (1カ月あたり：消費税抜)

| 使用水量 | 新安来市 (合併後) | 旧安来市 | 旧広瀬町 (広瀬・布部) | 旧広瀬町 (左記以外) | 旧伯太町 |
|----------------------|------------|--------|--------------|-------------|--------|
| 10m ³ 使用時 | 1,244円 | 1,244円 | 1,590円 | 2,130円 | 2,130円 |
| 20m ³ 使用時 | 2,489円 | 2,489円 | 2,990円 | 3,730円 | 3,080円 |

※合併時、旧安来市の料金に統一された



広報やすぎ11月号から水道料金改定の概要をお知らせしています。2回目は現在の水道料金の経過と、料金改定の経緯についてお知らせします。

水道料金の経過

現在の水道料金は、旧安来市時代の平成9年に改正されたもので

① 人口の減少、節水機器の普及に
あります。

新安来市は、県内8市の中で2番目に安価な水を供給してきました。しかし、今後の事業を継続するため水道料金の改定を行うことになりました。主に次の4つの理由があります。

料金改定の理由

現在の料金は、一般家庭(大人2人・子ども2人の4人家族、水道口径13ミリメートルで1カ月20立方メートル使用した場合)で2688円(税込)です。(前号14ページの「県内の市ごとの水道料金」グラフを参照ください)

これにより広瀬・伯太地域の料金は、2130円から1244円と886円程度の値下げ(口径13ミリメートルで1カ月10立法メートル使用した場合)となりました。以後、職員の削減、企業債償金免除繰上償還の実施、企業債発行の抑制などの取り組みで、20年間一度も料金改定を行っていません。

収支予測結果概要 (現行料金)

単位：億円

| | H29 | H30 | H31 | H32 | H33 | 5年平均 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 収入 | 8.12 | 8.07 | 8.06 | 8.00 | 7.91 | 8.03 |
| 支出 | 10.31 | 10.27 | 10.23 | 10.02 | 9.84 | 10.13 |
| 収支 | -2.19 | -2.20 | -2.17 | -2.02 | -1.93 | -2.10 |



◀老朽化した水道管の更新工事の様子(安来町)。



◀市内の上水道自己水源3カ所のうち、最も老朽化の進む宮内水源地(昭和9年共用開始)。

② 市内の主な水道施設等の老朽化と耐震化による施設更新費用の増加。今後10年間で約60億円必要。

③ 島根県から供給を受けている用水に係る費用の増加(18年間で6千万円増加)。

④ 国の制度改革によって簡易水道事業を上水道事業に統合すること

よりの、料金収入の減少。

による、国の支援の減少と、簡易水道事業の減価償却費の発生。これらの理由から将来の収支見通しを試算すると、大きな財源不足になります。このため今回、水道料金を改定することになりました。

次回は、具体的な料金改定の内容をお知らせします。